

村山 顕人 プロフィール

November 9, 17

村山 顕人 (むらやま あきと/MURAYAMA Akito) (40歳)
准教授・博士 (工学)

東京大学 大学院 工学系研究科 都市工学専攻
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部 14号館 1102号室
Phone: 03-5841-6370 (直通) Fax: 03-5841-6264 (共通)
E-mail: murayama@up.t.u-tokyo.ac.jp
Web Site: <http://up.t.u-tokyo.ac.jp/%7Emurayama/index-j.html>



I. 概要

専門は、都市計画、(公共政策としての)都市デザイン、まちづくり。その中でも特に、環境負荷低減・減災に向けた都市計画、計画策定技法(方法と技術)に焦点を当てている。

埼玉県川越市出身。2004年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士(工学)。東京大学国際都市再生研究センター特任研究員を経て、2006年10月から2014年3月まで名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻助教授・准教授(工学部環境土木・建築学科/減災連携研究センター兼務)。2014年4月から東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授。

2004年に日本都市計画学会論文奨励賞、2013年に日本木材青年団体連合会第16回木材活用コンクール第4部門(ランドスケープ・インスタレーション)賞共同受賞、2015年度日本環境共生学会賞「著述賞」共同受賞。

共著に、「都市のデザインマネジメント:アメリカの都市を再編する新しい公共体」(学芸出版社, 2002年)、「世界のSSD100:都市持続再生のツボ」(彰国社, 2008年)「都市・地域の持続可能性アセスメント:人口減少時代のプランニングシステム」(学芸出版社, 2015年)、「Living Cities in Japan: Citizens' Movements, Machizukuri and Local Environments」(Routledge, 2007年)、「Innovations in Collaborative Urban Regeneration」(Springer, 2009年)、「Basic and Clinical Environmental Approaches in Landscape Planning」(Springer, 2014年)、「Towards the Implementation of the New Urban Agenda: Contributions from Japan and Germany to Make Cities More Environmentally Sustainable」(Springer, 2018年予定)など。

名古屋都市計画審議会専門委員(名古屋都市計画マスタープランに関する調査)(2009-2011)、豊田市総合計画審議会委員(2015-)・都市計画マスタープラン策定懇談会委員(2016-)、静岡市都市計画マスタープラン懇話会委員(2014-2015)・立地適正化計画策定アドバイザー会議委員、亀山市総合計画審議会会長(2010-2012、2015-)、三重県都市計画審議会委員(2013-)、国土交通省中部地方整備局地震・津波災害に強いまちづくり検討委員会委員(2012-2013)、長久手市公園西駅周辺環境配慮型まちづくり基本計画策定委員会副委員長(2012-2013)等を歴任。名古屋市中区錦二丁目長者町の地域まちづくり・低炭素地区まちづくりプロジェクトにも参画。

II. 専門分野・学歴・職歴等

■専門分野

都市計画、(公共政策としての)都市デザイン、まちづくり
特に、環境負荷低減・減災に向けた都市計画、計画策定技法(方法と技術)

■学歴

1983.04~1987.02:埼玉県川越市立霞ヶ関南小学校在籍
1989.03:ロスアンゼルス国際学園小学部卒業(Hermosa Beach, California, U.S.A.)
1989.06:Worthington Estates Elementary School 卒業(Worthington, Ohio, U.S.A.)
1991.06:Perry Middle School 卒業(Worthington, Ohio, U.S.A.)
1991.08~1991.11:Thomas Worthington High School 在籍(Worthington, Ohio, U.S.A.)
1992.03:埼玉県川越市立霞ヶ関西中学校卒業
1995.03:埼玉県私立西武学園文理高等学校普通科卒業
1999.03:東京大学工学部都市工学科卒業
2001.03:東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了
2004.03:東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士(工学)の学位を取得(東京大学では都市計画(大方潤一郎・小泉秀樹)研究室に所属)

■職歴

2003.06:東京電機大学工学部建築学科都市計画(西山康雄)研究室非常勤助手(~2004.03)
2004.04:東京大学大学院工学系研究科国際都市再生研究センター(21世紀COEプログラム「都市空間の持続再生学の創出」)研究拠点形成特任研究員(~2006.09)
2006.10:名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻助教授(工学部社会環境工学科 兼務)(~2007.03)
2006.10:東京大学大学院工学系研究科国際都市再生研究センター客員研究員(~2007.03)
2007.04:名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授(配置換)(工学部社会環境工学科兼務)(~2014.3)
2007.04:財団法人名古屋都市センター調査課特別研究員(~2008.03)
2009.04:名古屋大学GCOE「地球学から基礎・臨床環境学への展開」協力教員(~2014.3)
2011.06:名古屋大学減災連携研究センター兼務(~2014.3)
2013.04:早稲田大学創造理工学部非常勤講師(創造理工学部国際コース・Fundamentals of Urban Studies and Planning 担当)(~2013.09)
2014.04:名古屋大学非常勤講師/招へい教員(~2015.09)
2014.04:東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授、現在に至る

■所属学会等

日本都市計画学会、日本建築学会、都市住宅学会
都市環境デザイン会議、全国エリアマネジメントネットワーク
International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (as UTdUE)、EcoDistricts

III. 研究業績

■原著論文（全て査読付論文）

1. 堀裕典・村山顕人・小泉秀樹：バンクーバー市都心部における容積移転制度を活用した開発手法とその運用 -既存の開発許可プロセスを通じた歴史的建造物容積バンクからのボーナス取得-, 都市計画論文集, vol.52, no.3, pp.617-623, 2017.10
2. 圓山王国, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎：転換期にある繊維問屋街の空間変容と再生の取り組みに関する研究 - 東京東神田・馬喰町地区と名古屋錦二丁目地区を対象として -, 都市計画論文集, vol.52, no.2, pp. 161-168, 2017.10
3. 森田紘圭, 村山顕人, 稲永哲, 藤森幹人, 延藤安弘：地域主導型低炭素まちづくりにおける発展的循環プロセス - 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクトの事例分析 -, 都市計画論文集, vol.51, no.3, pp. 444-451, 2016.10
4. 田崎智之, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎：人口減少時代を見据えた自治体の人口・土地利用フレーム設定に関する研究 - 愛知県内12自治体の都市マスタープランの分析を通じて -, 都市計画論文集, vol.51, no.3, pp. 546-552, 2016.10
5. 川口暢子, 高取千佳, 村山顕人, 清水裕之：都市における景観管理作業量推計手法の提案 - 名古屋市内の緑地を対象としたケーススタディ -, 都市計画論文集, vol.51, no.3, pp. 581-588, 2016.10
6. 森田紘圭, 稲永哲, 青木英輔, 村山顕人, 藤森幹人, 名畑恵, 延藤安弘：都市部における地産地消マルシェの開催によるCO2排出削減効果の分析, 社会技術研究論文集, vol.13, pp.32-42, 2016.5
7. 村山顕人, 森田紘圭, 藤森幹人, 延藤安弘：既成市街地におけるまちづくりを通じた自治体低炭素都市戦略の実現 - 名古屋市と錦二丁目低炭素モデル地区の取り組みの現状と課題 -, 都市計画論文集, vol.51, no.1, pp.40-45, 2016
8. U Hiroi, Akito Murayama, Yoshihiro Chiba, Hisashi Komatsu, Masafumi Mori, Keiichi Yamada, Masato Yamazaki and Nobuo Fukuwa: A Proposal of Multi-Scale Urban Disaster Mitigation Planning that Takes Regional Issues into Consideration, Journal of Disaster Research, Vol.10, No.5. pp.887-899, 2015
9. Mari Watanabe, Akito Murayama: Reclaiming Urban Streets: Comparative Analysis of Planning Process, Cost and Technical Standards of "Parklets" in San Francisco and Los Angeles, Journal of Sustainable Urbanization and Regeneration: Selected Papers from IASUR Conference 2014, pp.133-144, 2015
10. 山内健史, 大方潤一郎, 小泉秀樹, 村山顕人, 真鍋陸太郎：都市再生特別地区の公共貢献検討過程の実態に関する研究, 都市計画論文集, vol.50, no.3, pp.904-911, 2015
11. 川口暢子, 清水裕之, 村山顕人, 高取千佳：名古屋市における街区ごとに見る非建蔽地の開放性・単純性と緑被規模の関係と分布の特徴, 都市計画論文集, vol.50, no.3, pp.509-516, 2015
12. 森田紘圭, 稲永哲, 藤森幹人, 村山顕人, 延藤安弘：木材を活用した歩道拡幅社会実験による自動車交通と歩行行動への影響分析, 都市計画論文集, vol.50, no.3, pp.709-714, 2015
13. 柴田淳志, 伊藤夏樹, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎：中核市・特例市レベルの地方都市中心市街地における人口変動の様相, 都市住宅学会第22回学術講演会研究発表論文集（都市住宅学2014秋 no.87）, pp.92-97, 2014
14. 川口暢子, 村山顕人, 清水裕之, 高取千佳：名古屋市における街区ごとに見る非建蔽地／緑被地規模・変化の実態と分布の特徴, 都市計画論文集, vol.49, no.3, pp.207-212, 2014
15. Ayyoob Sharifi, Yoshihiro Chiba, Kohei Okamoto, Satoshi Yokoyama, Akito Murayama: Can master planning control and regulate urban growth in Vientiane, Laos?, Landscape and Urban Planning, Volume 131, November 2014, pp.1-13, <http://dx.doi.org/10.1016/j.landurbplan.2014.07.014>
16. 澤寄裕樹, 村山顕人, 清水裕之：ニューオーリンズ市統合計画（UNOP）の策定に見る復興

- 計画策定技法, 日本建築学会技術報告集, 第45号（2014年6月号）pp.735-740
17. Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: Neighborhood Sustainability Assessment in Action: Cross-Evaluation of Three Assessment Systems and Their Cases from the US, the UK, and Japan, Building and Environment, vol.72, pp. 243-258, February 2014, <http://dx.doi.org/10.1016/j.buildenv.2013.11.006>
 18. Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: Viability of Using Global Standards for Neighbourhood Sustainability Assessment: Insights from a Comparative Case Study, Journal of Environmental Planning and Management, January 2014, <http://dx.doi.org/10.1080/09640568.2013.866077>
 19. 森田紘圭, 杉本賢二, 加藤博和, 村山顕人, 飯塚悟, 柴原尚希, 林良嗣：4D-GISを用いた地区統合環境性能評価モデルの構築, 土木学会論文集D3（土木計画学）, vol.69, no.5, pp.297-308, 2013
 20. 森田紘圭, 加藤博和, 村山顕人, 柴原尚希, 林良嗣：クオリティ・ストックの実現に向けた街区群の動的更新・評価モデルの構築：名古屋市中区錦二丁目地区を対象として, 都市計画論文集, vol.48, no.3, pp.1071-1076, 2013
 21. 高木淳二, 村山顕人, 清水裕之：集水域分析に基づく景観計画単位の設定技法, 日本建築学会技術報告集, vol.19, no.42, pp.731-736, 2013
 22. Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: A critical review of seven selected neighborhood sustainability assessment tools, Environmental Impact Assessment Review, no.38, pp.73-87, 2013
 23. Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: Changes in the traditional urban form and the social sustainability of contemporary cities: A case study of Iranian cities, Habitat International, vol.38, April 2013, pp.126-134, 2013
 24. 辻裕美子, 村山顕人, 清水裕之：都心商業地における緑被の実態と建替を考慮した緑化の可能性：名古屋市栄-伏見間の広小路通沿道街区を対象として, 都市計画論文集, Vol.47, No.3, pp.253-258, 2012
 25. Ayyoob Sharifi, Itsuki Nagata, Akito Murayama: The potential of "CASBEE for urban development" for delivering sustainable communities: A case study from the "Koshigaya Lake Town" planning experience, Journal of International City Planning (2012), pp.703-713, 2012
 26. Elnaz Sarkheylil, Ayyoob Sharifi, Mojtaba Rafieian, Mohammad reza Bemanian, Akito Murayama: An investigation of the reasons for non-compliance with FAR regulations in Tehran, Cities, vol.29, no.4, pp.223-233, 2011
 27. 井上薫, 杉本南, 大西暁生, 清水裕之, 村山顕人, 大月淳：グリーンインフラストラクチャーの概念を用いた浸透性街路空間デザインの導入効果, 日本建築学会計画系論文集, Vol. 76, No.660, pp.335-340, 2011
 28. 山内悠生, 杉本南, 大西暁生, 清水裕之, 村山顕人：境川流域における土地利用変化と河川流出量変化に関する研究, 都市計画論文集, Vol.45, No.3, pp.655-660, 2010
 29. 川本直義, 清水裕之, 村山顕人, 大月淳：公共施設における開かれた利便供与の枠組みに関する研究：市民吹奏楽団を題材とした考察, 文化経済学, Vol.7, No.2, pp.17-30, 2010
 30. 飯田純子, 板谷明美, 石川知明, 大西暁生, 村山顕人, 清水裕之：緑地特性と地表面温度との関係：衛星画像を用いた解析, 中部森林研究, No.58, pp.103-106, 2010
 31. 木下光, 清水裕之, 村山顕人, 大月淳：養蚕業の影響を受けた南信州・古民家の空間機能の変化と大改修, 日本建築学会計画系論文集, Vol.75, No.649, pp.41-549, 2010
 32. 今井悠貴, 板谷明美, 石川知明, 村山顕人, 清水裕之：水みちネットワークを考えた景観連続性の評価：愛知県長久手町およびその周辺の森林を対象として, 中部森林研究, no.57, pp.219-222, 2009
 33. 南順一郎, 清水裕之, 村山顕人, 臼井直之：伊勢湾流域圏における土地利用の検討のための流域水収支モデルの考察, 日本建築学会技術報告集, No.29, pp.239-244, 2009
 34. 井上薫, 清水裕之, 大月淳, 村山顕人：GISを用いた市街地の「水みちネットワーク」把握手

- 法の開発, 日本建築学会計画系論文集, Vol.74, No.635, pp.107-112, 2009
35. 白井直之, 清水裕之, 村山顕人, 南順一郎: 伊勢湾流域圏における都市的土地被覆図の作成とその活用可能性, 日本建築学会計画系論文集, Vol.73, No.634, pp.2647-2654, 2008
 36. 恒川浩一, 板谷明美, 石川知明, 村山顕人, 清水裕之: 三重県津市の都市近郊林における竹林の分布, 中部森林研究, No.56, pp.169-172, 2008
 37. 澤美伶, 板谷明美, 石川知明, 村山顕人, 清水裕之: 子供たちの身近な森林環境: 都市へのアクセシビリティの評価, 中部森林研究, No.56, pp.173-175, 2008
 38. 關佑也, 西村幸夫, 北沢猛, 窪田亜矢, 遠藤新, 村山顕人: 法的拘束力を伴うデザイン審査の運用実態に関する研究: 米国オレゴン州ポートランド市のデザインレビューを事例に, 日本建築学会計画系論文集, No.610, pp.117-124, 2006
 39. 村山顕人, 川口高志, 清水哲夫: 大規模工業・港湾地区の再生に向けた空間計画の枠組みに関する考察: イギリス・ロンドン及びオランダ・ロッテルダムの事例分析から, 都市計画論文集, Vol.41, No.3, pp.719-724, 2006
 40. 真鍋陸太郎, 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: インターネット地図型掲示板での情報の収集・蓄積と議論の展開: 三鷹市基本計画改定での e コミュニティカルの運用を事例に, 都市計画論文集, Vol.40, No.3, pp.85-90, 2005
 41. 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: ダウンタウン・シアトル土地利用・交通プランの策定に見る都市空間計画策定技法, 都市計画論文集, Vol.39, No.3, pp.283-288, 2004
 42. 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: 都市空間計画策定における空間的解決策の導出技法: 米国オレゴン州ポートランド・セントラル・シティ計画の事例分析, 都市計画論文集, Vol.38, No.3, pp.829-834, 2003
 43. 村山顕人, 小泉秀樹, 秋田典子, 大方潤一郎: 土地利用計画策定手続きと環境アセスメント手続きの統合に向けて -米国ワシントン州の環境アセスメント制度の事例研究-, 都市計画論文集, Vol.37, No.3, pp.751-756, 2002
 44. 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: シアトル市ダウンタウンの空間形成を巡る議論と活動の展開過程: 1960年-2000年, 都市計画論文集, Vol.36, No.3, pp.307-312, 2001

■著書、編書

◆学術書

1. Akito Murayama (分担執筆): Reconsidering Urban Planning Through Community-based Initiatives, Bernhard Müller and Hiroyuki Shimizu eds.: Towards the Implementation of the New Urban Agenda: Contributions from Japan and Germany to Make Cities More Environmentally Sustainable, Springer, pp. **, 2017 (印刷中)
2. 伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹(編集), 村山顕人ほか(編集協力+執筆): コミュニティ事典, 春風社, 2017
3. Akito Murayama (分担執筆): Urban Landscape: Urban Planning Policies and Institutional Framework / Nobuko Kawaguchi and Akito Murayama (分担執筆・共著): Urban Planning: Is a Networked Compact City Vision Realistic?, Hiroyuki Shimizu, Chika Takatori and Nobuko Kawaguchi eds.: Labor Forces and Landscape Management: Japanese Case Studies, Springer, pp. 61-71/pp.373-380, 2017
4. 村山顕人 (分担執筆): 都市マスタープランの現在地-都市マスタープランの見直しから見た名古屋空間戦略の課題(第8章 8.2), 小泉秀樹編: コミュニティデザイン学: その仕組みづくりから考える, 東京大学出版会, pp.196-205, 2016
5. Akito Murayama (分担執筆): Land Use Planning for Depopulating and Aging Society in Japan, Yoshiki Yamagata and Hiroshi Maruyama eds: Urban Resilience - A Transformative Approach, Springer, pp.79-92, 2016
6. 村山顕人 (分担執筆): 日本における持続可能性アセスメントの萌芽(地区スケールの持続性評価の枠組み---日本のCASBEE-まちづくりと世界の枠組), 原科幸彦・小泉秀樹編著: 都

- 市・地域の持続可能性アセスメント: 人口減少時代のプランニングシステム, 学芸出版社, p.200-208, 2015.7
7. Hiroyuki Shimizu, Akito Murayama (編集): Basic and Clinical Environmental Approaches in Landscape Planning, Springer, 2014.2
 8. 村山顕人 (分担執筆): まちなかサテライト研究室 錦二丁目長者町 まちの会所, アーバンデザインセンター研究会編著: アーバンデザインセンター: 開かれたまちづくりの場, 理工図書, pp.111-114, 2012
 9. 村山顕人 (分担執筆): 都市のグリーンインフラストラクチャをつくる, 名古屋大学大学院環境学研究所しんぎん環境事業イノベーション寄附講座編: 地球からのおくりもの: 生物多様性を理解するために, 風媒社, pp.138-153, 2011
 10. Junichiro Okata, Akito Murayama (分担執筆・共著): Tokyo's Urban Growth, Urban Form and Sustainability, Andre Sorensen and Junichiro Okata eds.: Megacities: Urban Form, Governance, and Sustainability, Springer, pp.15-41, 2011
 11. Akito Murayama (分担執筆): Toward the Development of Plan-Making Methodology for Urban Regeneration, Masahide Horita and Hideki Koizumi eds.: Innovations in Collaborative Urban Regeneration, Springer, pp.15-29, 2009
 12. 村山顕人 (分担執筆): 脱成長時代の自治体都市計画, 自治体学会編: 自治体計画の現在, 第一法規, pp.53-82, 2009
 13. Tetsuo Kidokoro, Akito Murayama, Kensuke Katayama, Norihisa Shima (分担執筆・共著): New Directions in Urban Regeneration and the Governance of City Regions, T. Kidokoro, N. Harata, L. P. Subanu, J. Jessen, A. Motte, E. P. Seltzer eds.: Sustainable City Regions: Space, Place and Governance, Springer, pp.3-22, 2008
 14. 村山顕人 (分担執筆): 港湾機能と都市機能をダイナミックに再構成する, 新産業と路面電車ですらの中に村をつくる, 都市の中に小さなまちをたくさんつくる, 米国のサステナブル・サイト・デザインを支える都市づくりの戦略, 都市河川を短期間で復元する, 東京大学 cSUR-SSD 研究会編著: 世界のSSD100: 都市持続再生のツボ, 彰国社, pp.100-103, 208-211, 228-231, 236-239, 330-333, 2008
 15. Akito Murayama (分担執筆): Civic movement for sustainable urban regeneration: downtown Fukaya City, Saitama prefecture, Andre Sorensen, Carolin Funck eds.: Living Cities in Japan: Citizens' Movements, Machizukuri and Local Environments, Routledge, pp.206-223, 2007
 16. 村山顕人 (分担翻訳): 日常生活空間の再構成, トマス・ジーバーツ著, 袁原敬監訳: 都市田園計画の展望: 「間にある都市」の思想, 学芸出版社, pp.97-118, 2006
 17. 小泉秀樹, 村山顕人 (分担執筆・共著): 都市民主主義の成立: アメリカ都市再生政策の歴史的展開に学ぶ, 小泉秀樹, 矢作弘編: シリーズ都市再生(2): 持続可能性を求めて: 海外都市に学ぶ, 日本経済評論社, pp.20-39, 2005
 18. 村山顕人, 松本博之 (分担執筆・共著): 深谷の都市マスタープランと街なか再生, 矢作弘, 小泉秀樹編: シリーズ都市再生(3): 定常型都市への模索: 地方都市の苦闘, 日本経済評論社, pp.230-259, 2005
 19. 小泉秀樹, 村山顕人 (分担執筆・共著): 1970年代以降の成長管理の登場・発展, ワシントン州: 多主体間の意向調整に基づいたサステナブルな都市圏形成の試み, 小泉秀樹, 西浦定継編著: スマートグローブ: アメリカのサステナブルな都市圏政策, 学芸出版社, pp.9-34, pp.111-162, 2003
 20. 村山顕人, 小泉秀樹 (分担執筆・共著): シアトル: 都市改造への反対から始まったダウンタウン再生, シアトル都市圏: 成長管理とダウンタウン再生, 北沢猛+アメリカン・アーバンデザイン研究会編著: 都市のデザインマネジメント: アメリカの都市を再編する新しい公共体, 学芸出版社, pp.159-174, pp.175-187, 2002

◆教科書

1. 佐々木康寿, 山崎真理子, 古川忠稔, 村山顕人, 山田容三 (分担執筆・共著): 森と街の再

生をめざす臨床環境学-都市の木質化プロジェクトを通じた連携構築。渡邊誠一郎，中塚武，王智弘編：臨床環境学，名古屋大学出版会，pp.146-167，2014

2. 村山顕人（分担執筆）：アメリカの都市計画，伊藤雅春，小林郁雄，澤田雅浩，野澤千絵，真野洋介，山本俊哉編著：都市計画とまちづくりがわかる本，彰国社，pp.78-79，2011

◆雑誌特集

1. 村山顕人（特集担当編集委員）「特集：エコな街をつくる：地区スケールの環境ガバナンス」都市計画，327，2017年7月号，日本都市計画学会
2. 村山顕人（特集担当編集委員）「特集：成熟時代のオリンピック・パラリンピック大会と都市のイノベーション」都市計画，319，2016年3月号，日本都市計画学会

■研究報告（査読なし）

1. 三木裕子・村山顕人・真鍋陸太郎：地方都市の副拠点を対象とした空間形成計画の達成状況と課題 - 奈良市・近鉄大和西大寺駅周辺エリアの事例分析を通じて -，都市計画報告集，No.16，pp.176-181，2017
2. 藤田晃大，真鍋陸太郎，村山顕人，大方潤一郎：地域サービス機能から見た近年の日本の都市計画論の歴史的的位置づけ，都市計画報告集，No.15，pp.81-86，2016
3. 森田紘圭，稲永哲，青木英輔，村山顕人，藤森幹人，名畑恵，延藤安弘：居住・就業環境が個人の生活行動と健康・創発・幸福に与える影響の分析，第53回土木計画学研究発表会・講演集，pp.605-611，2016
4. 稲永哲，藤森幹人，渡邊真理，森田紘圭，村山顕人，名畑恵，延藤安弘：地域主導型歩道拡幅社会実験における多様な参加機会が地域力の向上に与えた影響 - 名古屋市錦二丁目長者町ウッドテラスの事例を対象として -，第53回土木計画学研究発表会・講演集，pp.1514-1522，2016
5. 稲永哲，藤森幹人，名畑恵，延藤安弘，村山顕人，森田紘圭：地域主導型まちづくりにおける道路空間性整備検討の課題 - 長者町ウッドテラスの社会実験を通じて -，景観・デザイン研究講演集，No.11，pp.271-278，2015
6. 澤崎裕樹・村山顕人：人口増減と複合災害の情報を用いた長期的土地利用計画の検討 - 東海4県における減災都市計画の展開に向けて -，都市計画報告集，No.14，pp.79-86，2015.5
7. 澤崎裕樹・村山顕人：人口増減と復興災害リスクを考慮した空間データベースの構築と土地の類型化，日本建築学会東海支部研究報告集，No.52，pp.705-708，2014
8. 村山顕人：南カリフォルニア成長ビジョンの策定における都市形態の検討方法に関する調査報告，日本建築学会東海支部研究報告集，No.45，pp.605-608，2007.2
9. 村山顕人：米国4都市のダウントウン計画策定過程 - クリーブランド、デンバー、ポートランド、シアトルを対象とした事例調査の報告 -，都市計画報告集，No.1，pp.16-21，2003.4

■国内学会発表

省略：日本建築学会学術講演会、同東海支部研究発表会、日本都市計画学会中部支部研究発表会、土木計画学研究発表会、日本環境共生学会学術大会等での発表多数

■国際会議発表

1. Akito Murayama: Livable City Center in the Age of Linear Chuo Shinkansen: Prospects for Planning in Nagoya's City Center, Special Session 1: Livable City Development and High Speed Rail, 2017 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, August 25, 2017, Nagoya Congress Center <招待講演>
2. Akito Murayama: Urban Diversity and Transformation of Tokyo, Presented in The University of Tokyo Global Japan Studies Summer Program 2017 AN INQUIRY INTO

JAPAN'S POSTWAR, August 1, 2017, Institute for Advanced Studies on Asia, The University of Tokyo <招待講演>

3. Akito Murayama: The Implementation of Municipal Low-Carbon City Strategy through Community Development in Existing Urban Area: The Case of Nagoya City and Nishiki 2 Low-Carbon Model District, International Conference "Urban Governance in the Network Society: France, Thailand and Japan", January 19-20, 2017, Rhone Department & Metropolitan Archives, Lyon, France <招待講演>
4. Akito Murayama: Experiences in Nishiki 2 District, resented at Workshop Session: Opening Up the Black Box of Research-Practice, September 15, 2016, EcoDistricts Summit 2016 Research Forum, University of Denver <招待講演>
5. Akito Murayama: Urban Diversity and Transformation of Tokyo, Presented in The University of Tokyo Global Japan Studies Summer Program 2016 AN INQUIRY INTO JAPAN'S POSTWAR, August 27, 2016, Institute for Advanced Studies on Asia, The University of Tokyo <招待講演>
6. Akito Murayama and Hiroyoshi Morita: Assessing the community-based low-carbon initiatives in Nishiki 2 District, Nagoya City, Presented in Workshop on Practice and Research in Urban Sustainability Assessment, August 18, 2016, The University of Tokyo, organized by International Association for Impact Assessment Japan Branch, Global Carbon Project Tsukuba International Office and Japan Society of Urban and Regional Planners, supported by Urban Land Use Planning Unit, Department of Urban Engineering, School of Engineering, The University of Tokyo
7. Akito Murayama, U Hiroi and Yoshihiro Chiba: Development and Application of Web-based Geographical Information System to Assess Urban Resilience: Land Use and Infrastructure Planning for the Greater Nagoya Region, Japan, Presented in Workshop on Tools and Indicators for Assessing Urban Resilience, December 7-10, 2015, The University of Tokyo, organized by Global Carbon Project-Tsukuba International Office in Collaboration with NIES, APN, UGEC, WUDAPT and IR3S)
8. Akito Murayama and Atsushi Shibata: The Recent Trend of Single-Family Residential Areas in the Shrinking Cities in Japan: Case of Yokosuka City, Kanagawa Prefecture, Presented in Project Homes-uP - Single Family Homes under Pressure? International Meeting Dresden 2015, November 23 and 24, IOER Dresden, Germany<招待講演>
9. Akito Murayama: Community-based approach to climate change response and Disaster mitigation: Cases in Nagoya City, Presented in "GCP Workshop at Toyota High-level Symposium on Sustainable Cities", 15-16 January 2015, Hotel Toyota Castle, Toyota City, Japan<招待講演>
10. Akito Murayama: Land Use Planning for Climate Change Response and Disaster Mitigation, Presented in Workshop on Surprise Resilient Scenarios: Emergent Dialogue Approach, 1-4 November 2014, Hotel Moon Beach, Okinawa, Japan, organized by Global Carbon Project-Tsukuba International office in collaborations with X-Center Network and Japan Industrial Management Association<招待講演>
11. Mari Watanabe, Akito Murayama: Reclaiming Urban Streets: Comparative Analysis of Planning Process, Cost and Technical Standards of "Parklets" in San Francisco and Los Angeles, Proceedings of the First Conference of International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration "Sustainable Society as Our Challenge", pp.511-520
12. Akito Murayama: Participatory Planning Approach to Link District, City and Region: Experiences in Nagoya, Japan, Workshop "Linking cities to regions: Exploring trans-scalar sustainable development processes", Chile-Japan Academic Forum at UTokyo, October 8, 2014, The University of Tokyo
13. Akito Murayama: Emerging Urban Form in the Age of Depopulation: Toward a New

- Planning and Management Approach, Public Symposium of Spatial Planning in Japan, 2014.9.15, Room 410, GB1, Faculty of Spatial Planning, TU Dortmund, Germany
14. Akito Murayama: Reconsidering Automobile-Oriented Urban Form: The Recent Planning Policies in Nagoya City, Workshop on the Urban History of Britain and Japan: Envisioning the Motor City: A Comparison of Post-War Reconstruction in Birmingham and Nagoya, 2014.4.28, Lecture Hall, Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University, Nagoya, Japan <招待講演>
 15. Akito Murayama: Resilient Land Use and Urban Form for Climate Change and Disaster Mitigation, German Science Days in Kyoto "Research for Sustainable Development" Workshop 2 "Sustainable Urban Development in Times of Demographic and Climate Change", 2013.10.25, Kyoto University, Kyoto, Japan
 16. Akito Murayama: Shaping the Contemporary Urban Environment of Nagoya City, 国際交流基金 日米・カナダ学芸員交流事業連携シンポジウム, 2013.10.18, 日本・名古屋・楽運寺
 17. Akito Murayama: Resilient Land Use and Urban Form for Demographic Change, Climate Change and Disaster Mitigation, Nagoya University Global COE Program "From Earth System Science to Basic and Clinical Environmental Studies" DFG (German Research Foundation) German Japan Joint Symposium: Sustainable Regional Planning for Shrinking Regions and Cities - Exchange of German and Japanese Studies -, 2013.10.3, Nagoya University, Nagoya, Japan
 18. Akito Murayama: Achieving Citywide Planning Goals through Machizukuri: The Recent Low-Carbon Movements in Nagoya City, Japan, CCRR-2013: Climate Change and Regional Response - Impacts and adaptation strategies for public, commercial and private actors, 2013.5.28, The Westin Bellevue Dresden, Dresden, Germany <招待講演>
 19. Akito Murayama and Ayyoob Sharifi: Integrating Planning and Assessment Methodologies: An Initial Step to Enhance Ecological Services and Biodiversity in Our Living Space, New Trend of Landscape Design 2: Enhancing Ecological Services and Biodiversity in Urban, Suburban and Rural Area, 2013.1.7, Nagoya University, Nagoya, Japan
 20. Akito Murayama and Ayyoob Sharifi: Low-Carbon Strategy and Community Development in Nagoya, Japan: Case of Nishiki 2 District, a Fabric Warehouse District in Transition, EcoDistricts Summit 2011, Portland State University, Portland, Oregon, U.S.A.
 21. Akito Murayama: Restoration of Urban Waterfront through Viaduct Removal, Center for Sustainable Urban Regeneration International Workshop: Next Step to Sustainable Urban Regeneration, 2007.9.3-5, The University of Tokyo, Tokyo, Japan <招待講演>
 22. Akito Murayama, Katsunori Banno, Satoshi Ishii, Takefumi Kurose, Toshiko Sato: Toward the Integration of Brownfield Rehabilitation and Planning Methodologies: Case Study of Keihin Industrial Area, Tokyo, Japan, Proceedings of Brownfields 2006: Third International Conference on Prevention, Assessment, Rehabilitation and Development of Brownfield Sites, 2006.7.19-21, Tallinn, Estonia <概要査読付>
 23. Akito Murayama, Noriaki Hayakawa, Junichiro Okata: Toward Comparative Study on Spatial Planning Issues and Approaches in Diverse Megacities, 2006 World Planning School Congress, 2006.7.11-16, Mexico City, Mexico <概要査読付>
 24. Akito Murayama: Downtown Regeneration Efforts in Fukaya City and Challenges for Sustainable Governance: 1st Symposium on Sustainable Urban Regeneration: Japan & Phoenix, 2005.5.26, School of Planning, Arizona State University, Tempe, Arizona, U.S.A. <招待講演>

25. Akito Murayama: Issues of Sustainable Urban Regeneration in Tokyo: Transport, Housing and Urban Planning/Development: 1st Symposium on Sustainable Urban Regeneration: Japan & Phoenix, 2005.5.26, School of Planning, Arizona State University, Tempe, Arizona, U.S.A. <招待講演>
26. Akito Murayama: Governance for Sustainable Urban Regeneration: Cases of Participatory Urban Planning and Machizukuri in Fukaya City, Saitama Prefecture, Japan, Conference Proceedings of the International Federation for Housing and Planning (IFHP) Spring Conference 2005: The Intentional City, 2005.5.22-25, Portland, Oregon, U.S.A., pp.7-17 <概要査読付>
27. Rikutarō Manabe, Akito Murayama, Hideki Koizumi, Junichiro Okata: Application of ICT Tools to Plan-Making Process in Local Government: Using e-Community Karte in Mitaka City, Computers in Urban Planning and Urban Management (CUPUM) 05, 2005.6.29-7.1, London, U.K. <概要査読付>
28. Akito Murayama: Governance for Sustainable Urban Regeneration: Cases of Participatory Urban Planning and Machizukuri in Japan, Proceedings of the Workshop: Problems & Prospects for Urban Regeneration: Comparison of Regional Cities in Indonesia and in Japan, 2005.3.4, Magister Perencanaan Kota dan Daerah / Pusat Studi Perencanaan Pembangunan Regional, Gadjah Mada University and Center for Sustainable Urban Regeneration, The University of Tokyo, pp. 11-30-55
29. Akito Murayama: Viaduct Removal, Waterfront Restoration and Urban Center Regeneration: Framework for International Comparative Case Study, International Workshop on Sustainable Urban Regeneration: Korea, Japan and China, 2004.12.1, Environmental Planning Institute, Seoul National University and Seoul Development Institute <招待講演>

■解説論文、総合報告等

1. 村山顕人：都市拠点形成に向けた容積移転プログラムのポイント：日本の現状と米国ワシントン州キング郡及びシアトル市の事例，地域開発，vol.622，2017.10・11，pp.61-68
2. 村山顕人：Topics | 関東 自転車未来都市へ - 自転車活用推進法と BICYCLE EXPO 2017，都市計画，Vol.66，No.6，p.6，2017
3. 村山顕人：エコな街をつくる新しい枠組みの探究：本特集の背景と見取り図，都市計画，Vol.66，No.4，pp.10-13，2017
4. Christine Mondor and Anna Rosenblum（著），村山顕人（訳）：ミルベール・エコディストリクト・ピボット 2.0（地図の中の風景-79），都市計画，Vol.66，No.4，表紙裏，2017
5. 村山顕人：Topics | 海外 エコディストリクト：人間と地球を中心に据えた地区スケールの都市再生のモデル，都市計画，Vol.65，No.5，p.8，2016
6. 山田貴大・村山顕人：東京における民泊の現状把握：物件登録状況・法規制・住宅供給状況の分析を通して，2016年度日本建築学会大会（九州）都市計画部門研究協議会資料「グローバルな人口流動と都市デザイン」，pp.73-76，2016
7. 村山顕人・寺田徹：立地適正化計画を巡る論点，連載：立地適正化のプラン・メイキング，都市計画，Vol.65，No.2，pp.90-91，2016
8. 村山顕人：脱成長時代のメガシティ東京のかたち，ランドスケープ研究，Vol.79，No.3，2015年10月，pp.228-229，日本造園学会，2015
9. 村山顕人：名古屋市の市街地再生の基盤としての歴史まちづくり戦略，日本建築学会都市計画委員会 2015年度公開シンポジウム（研究会）「超高齢化社会における歴史都市の住生活まちづくりー市街地住宅と住環境整備のソフト・ハードー」資料，pp.23-26，2015年11月
10. 村山顕人・廣井悠・福田篤史・倉田和己：「ナゴヤ減災まちづくりビジョン」の策定と都市圏減災プランニング手法の研究，2014年度日本建築学会大会（近畿）計画系災害研究ストラ

テジー [若手奨励] 特別研究委員会パネルディスカッション資料「計画系若手研究者は災害研究にどう向き合うか:次世代の災害復旧・復興・減災プロセスの構築へ向けて」, pp.58-59, 2014

11. 村山顕人・今野幸恵: 事例 03 錦二丁目長者町(名古屋市中区)～まちづくり構想に基づく草の根的プロジェクトの展開～, 2014 年度日本建築学会大会(近畿)都市計画部門研究協議会資料「地域ガバナンスと都市デザインマネジメント:次世代へのインセンティブ」次世代のインセンティブに向けての都市デザインマネジメント事例集, pp.112-113, 2014
12. 山崎真理子・村山顕人・佐々木康寿: 都市の木質化プロジェクトの展開:名古屋市中心部におけるストリート・ウッド・デッキ設置を巡る取り組み, 祉徑(林経協季報そまみち), 2014 年 3 月, No.32, 2014
13. 村山顕人・清水裕之: 日独シンポジウム報告:ランドスケーププランニングの新展開, BIOCITY, No.54, pp.122-124, ブックエンド, 2013
14. 村山顕人: 水循環を考慮した都市・田園の空間計画:流域圏から街区群までのマルチスケールを考える, 環境と公害, Vol.42, No.4, pp.3-9, 岩波書店, 2013
15. 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える 6: 環境の変化に対応するしなやかさ, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013 年 9 月号, pp.4-5, 2013
16. 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える 5: 地域まちづくりと都市デザイン提案, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013 年 7 月号, pp.4-5, 2013
17. 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える 4: 減災の視点から見直す都市計画, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013 年 5 月号, pp.4-5, 2013
18. 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える 3: ストリートウッドデッキの挑戦, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013 年 3 月号, pp.6-7, 2013
19. 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える 2: エコディストリクト: グリーンシティをつくる, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013 年 1 月号, pp.8-9, 2013
20. 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える 1: 持続可能な安全安心社会を目指して, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2012 年 11 月号, pp.6-7, 2013
21. 村山顕人: 米国の都市プランナーに求められる計画策定技術, 都市計画, Vol.61, No.4, pp.18-21, 2012
22. 村山顕人: 名古屋における次世代の都市計画のイメージ, アーバン・アドバンス, No.56, pp.12-19, 名古屋都市センター, 2011
23. 村山顕人: シリーズ・巨大地震に備える: 第 9 回: 災害に強い都市づくりに向けて, 愛知の建築, No.617, 2012 年 5 月号, pp.12-13, 2012
24. 村山顕人: 建築の争点: 「コンパクトシティ」と「間にある都市」, 建築雑誌, vol.127, No.1632, 2012 年 5 月号, p.45, 2012
25. 村山顕人: まちづくりと都市の木質化: 名古屋市中区錦二丁目長者町における試み, 木材工業, Vol.67, No.4, pp.175-178, 2012
26. 村山顕人: グリーンインフラストラクチャーから考えるアーバン・フォーム, 2011 年度日本建築学会大会(関東)都市計画部門パネルディスカッション資料「スマートシュリンクと空間管理: 人口減少時代のアーバンフォームとマネジメント 3」, pp.27-28
27. 村山顕人: 都市マスタープランの見直しから見た名古屋市の空間戦略の課題, 特別連載企画「新しい公共」の仕組みづくりを検証する, 季刊まちづくり, 31 号, pp.102-105, 学芸出版社, 2011
28. 村山顕人: 文献抄録: 都市デザインの入門書, 建築雑誌(日本建築学会), Vol.123, No.1583, 2008
29. 村山顕人: 既成市街地の都市空間の協働的・持続的マネジメントに関する研究-名古屋市中区錦二丁目のケース・スタディ-, 平成 19 年度名古屋都市センター特別研究報告, 2008
30. 村山顕人: 米国における都市・国土政策の潮流, UED レポート: 諸外国の国土政策・都市政策, 日本開発構想研究所, 2008
31. 村山顕人: 検証レポート・多様な価値観が共生する都市の景観: シアトルの取り組みから学

- ぶ, Future of Real Estate (不動産協会四季報), No.48, 2007 年夏号
32. 村山顕人: 文献抄録: パブリック・コンセンサスのデザイン, 建築雑誌, Vol.122, No.1564, 2007
33. 村山顕人: おすすめの 1 冊・読者レビュー: 安達正範・鈴木俊治・中野みどり著(2006)「中心市街地の再生: メインストリートプログラム」学芸出版社, 2006 年 11 月<<http://www.gakugei-pub.jp/mokuroku/syohyo/back/058main.htm>>
34. 村山顕人・周藤利一: ソウルの清溪川はいかにして甦ったか?, 地域開発, No.504, pp.53-59, 2006
35. 村山顕人: 連載: 海外のまちづくり・都市再生の現状 4: カナダ・トロント: 都市圏の成長管理と自治体の都市計画, 新都市, Vol.60, No.2, 2006
36. 趙昇衍・村山顕人: 連載: 海外のまちづくり・都市再生の現状 2: ソウル: チョンゲチョン復元事業と都心部政策の転換, 新都市, Vol.59, No.11, 2005
37. 村山顕人: 連載: 海外のまちづくり・都市再生の現状 1: ポストン: ビッグ・ディッグ・プロジェクトと都市空間の再生, 新都市, Vol.59, No.10, 2005
38. 村山顕人: 文献抄録: プランニングにおける情報の扱い方, 2005 年, 建築雑誌, Vol.120, No.1537, 2005
39. 村山顕人: ポートランド - セントラルシティ・プランの策定プロセス, 季刊まちづくり, 5 号, pp.45-52, 学芸出版社, 2004
40. 小泉秀樹, 吉村輝彦, 村山顕人, 杉崎和久: 「コミュニティ・ベイスト・プランニング」に関する研究レビュー, 都市計画, Vol.50, No.5, pp.53-58, 2001

■国内の招待講演・研究実践報告等

1. マスタープランは必要か?～日本型のプレイス・ベイスト・プランニングを考える～(小泉秀樹×村山顕人×高鍋剛): 日本都市計画家協会 J's カレッジ特別企画, 2017.9.22, 東京大学工学部 14 号館 141 講義室
2. DIVERSITY の視点から見直そう: 土木計画学における研究と教育(パネルディスカッション): 平成 29 年度土木学会全国大会土木計画学研究委員会研究討論会, 2017 年 9 月 11 日, 九州大学伊都キャンパス センター 2 号 2203
3. 都市プランニング論: まちづくりリーダー育成プログラム第 3 回, 2017.7.18, 東京スクエアガーデン 6 階中央区立環境情報センター研修室
4. エコな街をつくる: 新しい産官学民連携の形: 中部 PFI/PPP 研究, 2017.6.27, キャッスルプラザ(名古屋)
5. 2050 年の都市を想像しよう!～まちはどう変わってきて、どう変わっていくのか～(レゴを使った 2050 年の柏の葉の構想の導入授業): 未来こども学校, 2017.5.21, 東京大学工学部 14 号館 141 講義室
6. 錦二丁目ストリートウッドデッキ&長者町ウッドテラス: ソトノバ TABLE#16 Public Parklet Japan 2017 日本らしい「パークレット」を考えるアイデアソン, 2017.5.11 東京大学先端科学技術研究センター コミュニケーションラボ
7. みんなのまちづくりビジョン: シンポジウム「釜川から育む、まちのビジョン」, 2017.3.11 宇都宮市総合福祉センター 9 階 9A 会議室(基調講演+パネルディスカッション)
8. モデレーター: ディスカッション「地域経営の視点で考えるコミュニティの未来」, 松戸市公共施設マネジメントシンポジウム 05, 2017.3.7, 聖徳大学 10 号館
9. エコな街をつくる: コンセプトから実践へ: 企業が語るいきものがたり Part10・分科会 2 グリーンエコノミーを支える都市のあり方, 2017.3.7 三井住友海上駿河台ビル 1 階
10. 地域の創生のためのまちづくり: 中部経済連合会講演会「人口減少社会における地域の創生に向けて」, 2017.3.6 ホテルアソシア静岡 3 階「駿府」
11. 藤巻町: 里山の維持・管理を担う新しい郊外住宅地へー名古屋市緑の審議会・部会での検討を中心にー, 名古屋市長区藤巻町, 2017.3.2, 藤巻町自治会館
12. 環境負荷低減・減災に向けたマルチスケールの空間計画: 話題 1: 環境負荷低減・減災に向

けたマルチスケールの空間計画、話題2：エコディストリクト：持続可能な環境共生型の街づくりの手法：東京ガス第59回 エネルギー・環境講習会、2017.2.22, AP西新宿4階 ROOM 4-K&4-1

13. 人口減少時代のマスタープラン：日本都市計画家協会（JSURP）まちづくりカレッジ「人口減少社会を読む2：人口減少時代のプランニングの前提を考える」、2016.12.20/2017.1.25, 日本都市計画家協会
14. ポートランドから始まったEcoDistrictsのアプローチ：一般社団法人エコまちフォーラム エコまち塾、2016.12.12, 東京コンベンションホール大ホール
15. 地区スケールの都市再生を通じた都市ビジョンの実現：EcoDistrictsのアプローチ、名古屋街づくり研究会第2回講演会・意見交換会、2016.12.6, 名古屋都市センター11階ホール
16. 錦二丁目環境アカデミー・パネルディスカッション：企業のエネルギー配慮と不動産経営の効率化・環境不動産を活用したまちづくり、錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会2・講座2、2016.10.26, 名古屋センタービル9F
17. 錦二丁目環境アカデミー・趣旨説明及びパネルディスカッション：公共空間がもたらすまちの価値向上・これからの公共空間、錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会2・講座1、2016.9.28, 名古屋センタービル9F
18. 都市をリデザインするマスタープランニング、JSURP サマーカーニバル2016 新たな都市プランニング・アーバンイズムとシゴト、2016.9.5 3x3 Lab Future
19. 三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針について：三重県市町都市計画担当者研修会、2016.8.22, アスト津・アストホール
20. 都市における水循環の回復のために：都市における水循環の回復のために：Green Infrastructure + EcoDistricts、中部大学 中部高等学術研究所第3回サステナブル流域水研究会「都市・土地利用のデザインと水環境」、2016.7.4, 中部大学リサーチセンター2階大会議室
21. 環境都市ポートランドのまちづくり、U-Talk、2016.6.11, UT Cafe BERTHOLLET Rouge
22. 都市の木質化プロジェクトと低炭素地区まちづくり：名古屋市錦二丁目での取り組みを中心に、名古屋商工会議所木材部会、2016.6.2, 名古屋商工会議所ビル3階第3会議室
23. 脱成長時代の都市・まちの将来像と空間計画、第7回公共施設マネジメント研究会：まちづくりとしての公共施設マネジメント、2016.3.30, 名古屋大学 ES 総合館 ES ホール
24. Tactical Urbanism とストリート、ストリートデザイン・マネジメント研究会公開ミニシンポジウム、2016.3.15, 東京大学工学部 14号館1階141 講義室
25. 地域まちづくりの実践と都市計画・まちづくりの研究：名古屋市中区錦二丁目および名東区藤巻町の事例から、日本福祉のまちづくり学会住民参画・社会環境特別研究委員会第2回公開研究会「福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題ーその(2)」、2016.3.12, 東洋大学白山キャンパス1号館5階1503教室
26. 名古屋都心部のまちづくりとエリアマネジメント：2030年に向けて都市のイノベーション、名古屋都市再開発研究会まちづくり情報交換会、2016.2.23, 名古屋商工会議所
27. 錦二丁目環境アカデミー・総括：錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト1年目、錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会第4回、2016.2.10, 名古屋センタービル9F
28. 脱成長時代の都市・まちの将来像と空間計画（ショートレクチャー+ディスカッション）、まちを支える未来のハコモノ：松戸市公共施設マネジメント・シンポジウム02、2016.1.31, 聖徳大学10号館14階
29. 超高齢化社会における歴史都市の住生活まちづくり～市街地住宅と住環境のソフト・ハード～（パネルディスカッション・コーディネーター）、日本建築学会・白河市主催平成27年歴史まちづくりシンポジウム、2015.11.14, りぶらん（白河市立図書館）地域交流会議室
30. 横須賀市における都市づくりの方向性（パネルディスカッション）、横須賀市都市計画シンポジウム、2015.11.12, 横須賀市役所3号館5階正庁
31. ライフスタイル変革を促す低炭素地区まちづくりプロジェクトの事例とその方法：名古屋市錦二丁目低炭素モデル地区における実践を中心に、日本都市計画学会第50回学術研究論文発

表会ワークショップ「都市環境の改善整備による低炭素ライフスタイル変革とその評価の試み」、2015.11.7, フェニックス・シーガイア・リゾート

32. アクティブで健康な都市のコンセプト、亀山市中期戦略会議研修、2015.11.2, 亀山市役所
33. 低炭素まちづくりの戦略と戦術：錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト、錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会第1回、2015.9.28, 名古屋センタービル9F
34. 「コンパクト・シティ」と「間にある都市」：持続可能な都市形態を求めて、常葉大学学部地域法政策研究・実践センター第19回地域活性化勉強会、2015.9.26, 清水テルサ7階会議室C
35. グリーン・シティ・ポートランドの街と暮らし：地方都市のこれからを考える、静岡県/ふじのくに地域・大学コンソーシウム/常葉大学法学部地域法政策研究・実践センター共同公開講座2015 第1回 オープンデータを使った地域課題の解決と地方都市の暮らし、2015.9.25, 常葉大学水落校舎403教室
36. 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクトの挑戦：既存市街地の持続的再生を目指す産官学民協働のまちづくり、(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県生涯学習推進センター主催あいち学びネットワークフォーラム「みんなで考えよう！環境にやさしいまちづくり」、2015.9.12, 愛知県生涯学習推進センター
37. 持続可能でレジリエントな将来に向けて地域まちづくりと都市計画の枠組みを再考する、JSPS-DFG 二国間研究セミナー「持続的でレジリエントな都市計画を目指して」、2015.9.8-9, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
38. 神戸大学持続的住環境創成講座 SLED レクチャー「シアトル都心部の高架道路の撤去・トンネル化とウォーターフロントの再生～多様な主体の参加を前提とした空間変容過程のプランニング～」、2015.6.22, 神戸大学工学部産学連携室 3W-101
39. 10年後の東京から振り返る現在（パネルディスカッション）、公益財団法人日本造園学会90周年記念全国大会公開シンポジウム「過去と未来からみる都市のランドスケープ」、2015.5.23, 東京大学農学部（弥生）キャンパス弥生講堂一条ホール
40. 産業のレジリエンシーを考慮した広域圏減災プランニング手法に関する実務者・専門家ワークショップ（報告）、「産業・広域インフラから広域減災ビジョンを考える」シンポジウム討論、名古屋都市センター減災まちづくり研究会、2015.3.21, 名古屋大学減災館
41. 既存市街地の持続的再生を目指すまちづくり構想と実現プロジェクト、スマートシティ・セミナー～低炭素都市名古屋を目指して～、名古屋市・名古屋商工会議所、2015.3.20, 名古屋商工会議所5階ABC会議室
42. 地震・津波災害に強いまちづくりフォーラム～過去の地震に学ぶまちづくり～（パネルディスカッション）、国土交通省中部地方整備局、2015.3.6, 名古屋国際センター別棟ホール
43. 錦二丁目まちづくり協議会交流会「錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト：既存市街地における地域主体の長期的・漸進的な低炭素地区形成のモデル」、2015.2.19, 吉田商事1階
44. 都心部のエリアマネジメントに関わる話題提供：地区のマネジメントから都心部のマネジメントへ、名古屋都市再開発研究会まちづくり情報交換会、2015.2.13, 名古屋商工会議所
45. 名古屋駅地区街づくり協議会の新春セミナー「街のオープンスペースを考える」、名古屋駅地区街づくり協議会、2015.1.28, キャッスルプラザ
46. 平成26年度公共交通シンポジウム in 中部「持続可能なまちづくりと地域公共交通ネットワーク形成」（パネルディスカッション）、国土交通省中部運輸局・中部地方整備局、2014.12.3, ミッドランドホール
47. 長者町ウッドテラスの位置付け（解説・全体コーディネーター）、錦二丁目・長者町界隈まちづくり・まちのしゃべり場：「長者町ウッドテラス」社会実験を考える（主催：JUDI 都市環境デザイン会議中部ブロック・錦二丁目まちづくり協議会）、2014年10月11日, 吉田商事1階
48. National Institute for Environmental Studies Global Carbon Project Seminar "Land Use Planning for Climate Change Response and Disaster Mitigation - Initiatives in

Nagoya at Urban and District Scales -", 2014.6.30, National Institute for Environmental Studies, Tsukuba

49. 神戸大学持続的住環境創成講座 SLED レクチャー「シアトルのセントラル・ウォーターフロントの再生とそれを支える計画策定技法」, 2014.6.23, 神戸大学工学部産学連携室 3W-101
50. 錦二丁目まちづくり公開シンポジウム「ところで、錦二丁目の『低炭素』って何?」（全体コーディネーター）, 錦二丁目まちづくり協議会・錦二丁目町内会連合共催, 2014.4.11, 名古屋センタービル9階会議室
51. 都市空間のサステナブル・リノベーション, 公益財団法人愛知県都市整備協会第5回まちづくり+α講習会, 2014.3.24, ウィンクあいち 902 大会議室
52. 名古屋都心のエリアマネジメントを取り巻く、環境の変化と今後について, 名古屋都市再開発研究会都心活性化委員会シンポジウム「まちづくりは自らの手でIV」, 2014.2.25, 名古屋商工会議所5階会議室 BC
53. THE 討論! 「ナゴヤ版」減災まちづくりを考える（ワークシヨップ報告）, 減災まちづくり研究会, 2014.2.11, 名古屋都市センター11階ホール
54. 地震・津波災害に強いまちづくりシンポジウム～地震・津波災害に強いまちづくりに向けた今後の取り組み～（パネルディスカッション）, 国土交通省中部地方整備局, 2014.2.13, テレビアホール
55. 2030年に向けた都市計画のアプローチ, 愛知県居住施策に関する意見交換会, 2014.1.28, 愛知県東大手庁舎4階401会議室
56. 20年後の暮らしのシナリオプランニング, 津島市減災まちづくりビジョン・ユースワークシヨップ「20年後も住み続けたい未来の津島を考える」, 2014.1.26, 津島市児童科学館視聴覚室
57. 錦二丁目長者町における低炭素まちづくりの実践:低炭素街区群デザインの社会実装のアプローチ, 環境省環境研究総合推進費 1E-1105「低炭素社会を実現する街区群の設計と社会実装プロセス」最終成果報告シンポジウム, 2014.1.25, 名古屋大学 ES 総合館 ES ホール
58. 錦二丁目ストリートウッドデッキ（パネルディスカッション・コーディネーター）, 名古屋大学グローバルCOEプログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」国際シンポジウム:臨床環境学の構築:アジアの視点, 2013.12.16, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
59. リニア中央新幹線名古屋駅の建設とオープンスペースの創出, 都心楽会 NAGOYA vol.7 メイエキ×リニアのミライ, 2013.12.13, 名古屋都市センター11階ホール
60. 街のオープンスペースを考える, 深谷市市民まちづくり講演会, 2013.11.30, セツ梅酒造跡東蔵ホール
61. 環境・減災の視点から考える名古屋の都市戦略, 名古屋大学建築学科創設50周年記念事業記念シンポジウム「災害とまちづくり - 第15回まちとすまいの集い」, 2013.11.9, 名古屋大学豊田講堂
62. 地域主導の低炭素まちづくりの展望, 環境省環境研究総合推進費 1E-1105 自治体対象セミナー「これからの低炭素まちづくりの発想と実践」, 2013.11.7, 名古屋市役所
63. まちを元気にする地域まちづくりの挑戦, UR 技術・研究報告会特別講演, 2013.10.22, 電気文化会館イベントホール
64. リニア中央新幹線と名古屋:2027年に向けた名古屋都心のビジョンを考える, 建設コンサルタンツ協会中部支部「都市整備ワーキング」講習会, 2013.10.17, 建設コンサルタンツ協会中部支部
65. コミュニティ・文化を支える空間づくりの処方箋, 名古屋大学 GCOE プログラム主催:環境・文化芸術まちづくりへの処方箋:低炭素・アート・豊かなくらし, 2013.9.22, 愛知芸術文化センター
66. 緑のまちづくりフォーラム:緑による都市のブランディング(名古屋市緑政土木局緑地部緑地計画課主宰)(パネリスト), 2013.8.25, 名古屋都市センターホール
67. 減災と環境の視点から考えるこれからの都市計画, 防災・減災のまちづくりへのキックオフ・シンポ in つしま 2013, 2013.4.7, 津島市生涯学習センター大ホール
68. シアトルの成長戦略と空間形成, 中部経済連合会第3回街づくり・観光委員会講演,

- 2013.3.14, 中部経済連合会)
69. 名古屋のまちの未来に向けて:地域まちづくりの現場で建築士にながでできるか, 愛知建築士会名古屋東支部講演会, 2013.2.23, 昭和ビル5階愛知建築士会会議室
70. エリアマネジメント:資金確保の議論に向けて, 名古屋都市再開発研究会都心活性化委員会講演, 2013.2.19, 名古屋商工会議所
71. 米国の都市・国土政策と都心部の再生:シアトルの事例を中心に, JAPIC 中部委員会幹事会講演, 2013.2.13, 大林組名古屋支店
72. まちの魅力を磨き、育てるエリアマネジメント, 地域問題研究所第40次(平成24年度)市町村ゼミナール第11講, 2013.1.16, 名古屋栄ビルディング・特別会議室
73. 錦二丁目長者町のまちづくりと空間デザイン, 環境省環境研究総合推進費プロジェクト公開セミナー:低炭素で魅力的なまちの実現に向けて, 2012.12.2, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
74. 名古屋地区の再開発とオープンスペース, 都心楽会 vol.5, 2012.12.14, 名古屋都市センターホール
75. 環境に配慮した都市計画・まちづくり, 北区生涯学習センター公開講座, 2012.12.7, 名古屋市北区生涯学習センター
76. 減災まちづくりの考え方, 名古屋大学減災連携研究センター第18回げんさいカフェ, 2012.11.18, 名古屋大学カフェフロント
77. 都市のグリーン・インフラストラクチャをつくる, 愛知学長懇話会:持続可能な都市の空間計画:環境と減災の視点から, 2012.11.8, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
78. 減災まちづくりの考え方, 愛知学長懇話会:持続可能な都市の空間計画:環境と減災の視点から, 2012.11.15, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
79. 栄地区の都市再生:質の高い都市空間を形成するためのコンセプト, 栄都市再生研究会講演, 2012.11.30, UR 都市機構中部支社
80. 持続可能な安全安心社会を目指すまちづくり, 駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援事業講演, 2012.11.2, 沖繩総合事務所
81. 都市のグリーン・インフラストラクチャをつくる, 中部の環境を考える会, 環境調和型のまちづくり:都市計画の最先端, 2012.10.20, 名古屋港湾会館第5会議室
82. 地域まちづくりと新しい計画制度, 名古屋市住宅都市局2012年度第1回地域まちづくり研修, 2012.10.17, 名古屋都市センター・ホール
83. 名古屋の都市形成史と震災を見据えた今後の都市計画・まちづくり, 2012年度度本建築学会大会(東海)記念シンポジウム「名古屋・愛知・東海の防災とまちづくり」, 2012.9.14, 名古屋大学豊田講堂
84. 都市のグリーンインフラストラクチャをつくる:高架構造物の撤去または再利用を通じた都市空間の再生, 第49回エコデザインセミナー, 2012.8.31, おおさかATCグリーンエコプラザ・ピオトーププラザ
85. パネルディスカッション・コーディネーター, 東海環状自動車道大垣西IC-養老JCT間開通記念シンポジウム, 2012.7.20, 大垣市情報工房スィンクホール
86. 都市のビジョンを描く, 西武文理学園創立45周年記念講話, 2012.6.23, 西武学園文理中学校 BS ホール
87. 環境と災害に強いまちづくり, TAMANO TECHNICAL OPEN COLLEGE, 2012.4.13, 玉野総合コンサルタント
88. 広域交通インフラの整備とまちづくり, 亀山商工会議所通常議員総会記念講演, 2012.3.28, 亀山商工会館2階ホール
89. アドバイザー, 名古屋都市再開発促進協議会・名古屋都市再開発研究会シンポジウム「街づくりは自らの手でII」, 2012.3.19, 名古屋商工会議所
90. 地域まちづくりにおける様々な連携の可能性, 愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会2011年度度公開シンポジウム, 2012.1.24, 名古屋都市センター・ホール
91. 防災・環境・超高齢化と名古屋のまちづくり, なごや環境大学・なごや環境学2011「リスク管理とまちづくり」, 2012.1.28, 伏見ライブプラザ

92. コーディネーター、2011年度本建築学会東海支部シンポジウム「まちづくりのステップ・アップ：地区スケールの空間ビジョンを描くために」、2011.11.13、名古屋都市センター・ホール
93. 論点提示：日本都市計画学会60周年記念パネルディスカッション『『都市計画』の志向する未来『都市計画学』の拓く道』、2011.11.19
94. 土地区画整理事業からエコなエリア・マネジメントへ：土地区画整理事業の事業効果を踏まえた今後の展開：全日本土地区画整理士会愛知県支部・愛知県土地区画整理研究会、2011.11.4、昭和ビル9階大会議室
95. 名古屋の都市計画と減災、JIDA中部ブロック・セミナー「プロダクトデザインと都市計画の視点から減災に関する提案」、2011.10.8、株式会社パツファロー本社9階
96. パネリスト、名古屋都市計画マスタープランシンポジウム・パネルディスカッション「駅そばまちづくりと都市防災」、2011.10.15、名古屋都市センター11階大ホール
97. アートプロジェクトと都市計画、文化経済学会<日本>2011年度研究大会シンポジウム、2011.7.2、名古屋大学IB電子情報館2階大講義室
98. 都市のマスタープランと防災、第50期名古屋市民大学講座、2011.5.11、ウィングあいち5階小ホール1
99. コメンテーター、名古屋都市再開発研究会全体会議「街づくりは自らの手で：名古屋市中心部のエリアマネジメント活動、2011.3.8、名古屋商工会議所3階第1会議室
100. 活動報告コーディネーター、三重県景観シンポジウム「景観からはじめるまちづくり」、2011.1.23、鈴鹿市ふれあいセンター
101. コーディネーター、名古屋アメリカンセンター・(財)愛知県国際交流協会主催 Anita Maltbia 氏講演会「グリーン化による地域再生--アメリカの事例 Green Impact Zone--」、2011.1.19、愛知県三の丸庁舎8階大会議室
102. 都市のマスタープランと防災、第62回名古屋大学防災アカデミー、2010.9.24、名古屋大学環境総合館レクチャーホール
103. 亀山市都市マスタープランと交通まちづくり、リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議講演会、2010.7.14、亀山市文化会館
104. 都市のグリーン・インフラストラクチャーをつくる、名古屋大学院環境学研究所しんぎん環境事業イノベーション寄附講座第七回環境学公開講演会、2010.6.11、豊田産業文化センター
105. 名古屋都心部の土地利用戦略の方向性、名古屋市議会21世紀まちづくり特別委員会、2009.12.16、名古屋市公館
106. 都市中心部のマネジメントを支える都市づくりの戦略、名古屋都市再開発研究会全体会議、2009.10.21、名古屋商工会議所5階会議室D
107. 都心コミュニティの計画とデザイン、栄ミナミ地域活性化協議会主催第5回栄ミナミまちづくりフォーラム、2009.6.24、プリンセスガーデンホテル
108. 企画展出展作品に見る都市型住宅の提案、日本建築学会東海支部都市計画委員会・(財)名古屋都市センター都市居住シンポジウム、2008.12.7、名古屋都市センター11階大研修室
109. パートナーシップによる地域の特色を生かした都市づくり、全国市町村国際文化研修所演習導入講義、2008.10.3、全国市町村国際文化研修所
110. まちづくりのビジョンとその実現、名古屋市茶屋新田地区土地区画整理事業勉強会、2008.10.21、名古屋都市整備公社会議室
111. 都市圏の成長管理と街なか空間の再生、三重県市町都市計画担当者研修会特別講演、2008.7.9、三重県津庁舎6F大会議室
112. 多主体参加型まちづくりの5つのカタチ(パネリスト報告)、自治基本条例シンポジウム「安城の条例づくりとまちづくり」、2008.7.13、安城市民会館3階大会議室
113. 市民主導のまちづくり：美しい都市・田園環境を次世代に、石薬師地区明るいまちづくり推進協議会主催石薬師地区景観まちづくり講演会、2008.3.19、三重県鈴鹿市石薬師公民館2階ホール
114. 持続可能な都市再生とエリア・マネジメント(パネリスト報告)：名古屋都市再開発研究会

- 主催名古屋駅地区魅力再生シンポジウム、2008.3.21、ミッドランドスクエア・ミッドランドホール
115. 環境問題に対する都市計画の挑戦、名古屋大学院環境学研究所都市環境学専攻建築学教室平成19年度まちとすまいの集い「地球温暖化と都市・建築」、2007.12.15、名古屋大学環境総合館レクチャーホール
116. 次世代のための生活街づくり、亀山市都市マスタープランまちづくりワークショップ第2回：2007.11.23、亀山市総合保健福祉センター「あいあい」2階会議室
117. コーディネーター、名古屋アメリカンセンター主催 Chester Liebs 教授講演会「アメリカの母なる道：ルート66から学ぶ、2007.6.27、各務原市役所
118. 錦二丁目のまちづくりマスタープランを考える：米国から学ぶ多縁協働の都市デザインマネジメント、錦二丁目縁側大学2007・まちのデザイン塾、2007.5.16、名古屋センタービル
119. 持続可能な都市再生のための計画技法：海外諸都市の取り組みから、愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会2007年度総会記念講演、2007.5.18、名古屋都市センター
120. 長久手古戦場駅周辺のまちづくりに向けて：駅を中心とした新しい複合開発の考え方、平成18年度長久手中央土地区画整理事業第2回勉強会、2007.2.25、長久手町役場
121. ボストン高架道路建設と合意形成、神田技芸祭実行委員会「緊急討論：首都高速建設と本橋川の景観を考える」、2006.8.12、ちよだプラットフォームスクウェア
122. 高架構造物の撤去・再利用を通じた都市空間の再生：ボストン、サンフランシスコ、シアトル、ニューヨークの事例、財団法人土地総合研究所第116回講演会、2006.3.13
123. 街なか再生と市民参加：岩手県第3回いわて都市政策研究会、2005.10.12、北上市ツインモールプラザ
124. 歴史的資産の保全・活用等によるにぎわい再生に向けたまちづくり：埼玉県深谷市における街なか再生の取り組み、都市計画協会まちづくり講習会、2004.3.19

■創造的活動

◆作品

1. 名古屋都市センター減災まちづくり研究会：ナゴヤ減災まちづくりビジョン～巨大災害と復興に備える～、2014.3
2. 名古屋都市センター・オープンスペース・デザイン研究会：名古屋都心のオープンスペース・デザイン、2013.3
3. 港まちづくり協議会：みんなとまち VISION BOOK 2013-2018、2013.3
4. 都市の木質化プロジェクト(河崎泰了、佐々木康寿、滝一之、藤森幹人、船橋浩三、村山顕人、山崎真理子、米津文彦ほか)：錦二丁目ストリートウッドデッキ、名古屋市中区錦二丁目、木造、2012.11
5. 錦二丁目まちづくりマスタープラン作成企画会議(延藤安弘、堀田勝彦、船橋浩三、村山顕人、武藤隆、鈴木弘司、伊藤孝紀、春日和俊、戸村達彦、河崎泰了、桑名寛一、根元理、原愛樹、坪井俊和、藤森幹人、名畑恵)：これからの錦二丁目長者町まちづくり構想(2011-2030)、2011.4
6. 名古屋都市センター都心ビジョン研究会：名古屋都心ビジョン2030、2011.4
7. 名古屋都市センター減災まちづくり研究会：名古屋大都市圏減災まちづくりビジョン～常に進化する協働型ビジョン～、2016.3

◆発明・特許

なし

■研究費獲得状況

1. 高架構造物の撤去・再利用を通じた都市空間再生の計画手法に関する研究(科学研究費補助

- 金・若手研究(B)：2006年度～2008年度) [村山顕人]
2. 大都市インナーシティの再生に向けた建築・都市空間の計画・デザイン手法：名古屋市中区錦二丁目のケース・スタディを通じて(財団法人旭硝子財団研究助成：2009年度～2010年度) [村山顕人]
 3. 子育て都市環境の計画・デザインに関する研究(「子育て日本一」を目指す水の都・大垣市との連携・受託研究：2010年度～2012年度) [村山顕人研究室]
 4. 都市のグリーン・インフラストラクチャをつくる(Creating Urban Green Infrastructure)(米国社会科学研究評議会(Social Science Research Council) CGP-SSRC 政策フォーラム研究支援金：2010年度) [村山顕人研究室]
 5. 地域特性に応じた都市の将来像アセスメントのための計画技法と解析技術の研究(科学研究費補助金：2011年度～2013年度) [木内望ほか]
 6. 大垣市子育て世代に選ばれる都市戦略会議(大垣市受託研究/地域総合整備財団こふるさと財団>平成25年度まちなか再生支援事業：2013年度)
 7. 低炭素社会を実現する街区群の設計と社会実装プロセス(環境省環境研究総合推進費)(2011年度～2013年度) [加藤博和ほか]
 8. 南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト・サブプロジェクト1：地域連携減災研究(2013年度～) [名古屋大学ほか]
 9. 長期的な視点からのレジリエントな都市圏創造に関する研究/レジリエントな都市圏創造を実現するプランニング手法の確立(JST 戦略的創造研究推進事業・社会技術研究開発)(2012年度～2015年度) [廣井悠ほか]
 10. 地域防災対策支援研究プロジェクト『地域力向上による減災ルネサンス』(2013年度～2017年度) [護雅史ほか]
 11. 適切な生態的国土管理のための生態的国土管理基礎コストの算出(科学研究費補助金・基盤研究(B)：2014年度～2015年度) [清水裕之ほか]
 12. 諸外国の公共交通指向型開発(TOD) 施策に関する研究調査(株式会社日建設総合研究所：2014～2015年度) [城所哲夫・村山顕人]
 13. 低炭素ライフスタイルイノベーションを展開する評価手法構築に関する研究(既成市街地のまちづくりを通じた都心型低炭素ライフスタイル・ワークスタイルの評価方法構築)(環境省)：2014年度～2015年度 [村山顕人・NPO 法人まちの縁側育くみ隊・大日本コンサルタント株式会社]
 14. 「ストリート」の管理と利活用を通じた公共空間の公共性と地域ガバナンスの段階的発展(科学研究費補助金・基盤研究(A)：2014年度～2016年度) [出口敦ほか]
 15. Implementing the United Nations' New Urban Agenda - Universities in Action (Compagnia di San Paolo within the Politecnico di Torino Joint Projects for the Internationalization of Research 2017: September 20, 2017 - September 19, 2018) [Claudia Cassatella, Akito Murayama, Marco Santangelo, Giancarlo Cotella, Akiko Iida, Takahiro Yamazaki, Kaoru Matsuo, Fumihiko Seta]

IV. 教育実績

■名古屋大学担当授業(2006-2015)

◆学部

- ・都市・国土計画(建築学コース・環境土木コース, 2006-)
- ・空間設計工学及び演習第2(建築学コース, 2007-2013)
- ・建築設計及び演習第2(建築学コース, 2006)
- ・総合設計及び演習第1・第2(建築学コース計画系, 卒業設計, 2006-2013)
- ・卒業研究(2006-2013)
- ・基礎セミナーA(全学教養, 2007-2009)
- ・図学B(物理工学科, 2010-)

◆大学院

- ・都市計画論(都市環境学専攻+他研究科・他大学, 2006-)
- ・建築・都市設計実習(建築学コース, 2007-)
- ・都市環境学地域貢献実習(建築学コース, 2009・2010・2012)
- ・環境学英語特別講義(建築学コース国際ワークショップ, 2010・2012・2013)
- ・環境・安全マネジメントセミナー(2006-2013)
- ・その他, オムニバス形式の授業多数(全学教養, 体系理解科目, GCOE, NUGELP)

(西暦は年度を示す)

- *一部、環境学英語特別講義として、パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校(ENSA-PVS)との国際建築・都市設計ワークショップを担当。以下は担当したワークショップの開催概要。
- ・2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ2009
「地下鉄茶屋ヶ坂駅を中心とする複合市街地の再生」
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生10名、名大大学院生40名が参加)
 - ・2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、名大大学院生4名が参加)
 - ・2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ2010春
「名古屋駅地区のアーバン・デザイン・プラン」
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生12名、名大大学院生36名が参加)
 - ・2011年9月：国際建築・都市設計ワークショップ2011秋
「Bercy-Poniatowski 地区の建築・都市設計提案」
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生18名、米国カンザス大学大学院生10名、名大大学院生5名が参加)
 - ・2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ2012春
「減災に向けた地区スケールの計画・デザイン」
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生9名、テルアビブ大学学生9名、名大大学院生27名が参加)
 - ・2013年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ2013春
「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生13名、名大大学院生17名が参加)
 - ・2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ2013秋
「ハイウェイのない都市を構想する」
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生15名、名大大学院生5名が参加)
 - ・2014年4月：GSES-NU/ENSA-PVS/Tianjin-U 合同建築・都市設計ワークショップ2014春
「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生13名、天津大学大学院生1名、名大研究生・大学院生21名が参加)

■早稲田大学担当授業 (2013)

- ・ Fundamentals of Urban Studies and Planning (2013)

■東京大学担当授業 (2014-)

◆学部 (教養学部)

- ・ 初年次ゼミナール理科「東京の街を歩き、その空間について考える」(2015-)

◆学部 (都市計画コース)

- ・ 土地利用計画論 (2014-)
- ・ 地区の計画とデザイン (2016-)
- ・ 都市工学演習 A (2014-)

◆大学院 (都市計画コース)

- ・ 都市計画特論第3 (2015-)
- ・ 都市プロジェクト演習 (2016-)

◆大学院 (都市持続再生学コース (社会人向け東大まちづくり大学院))

- ・ まちづくり演習第1

◆輪講 (学部・大学院共通)

- ・ 都市工学輪講 (2015-)
- ・ 都市工学グローバル輪講 (2015-)

◆インターネット講義

- ・ edX course on "Sustainability Science – A Key Concept for Future Design" (共同)
<https://www.edx.org/course/sustainability-science-key-concept-utokyox-utokyo006x>

■研究室活動

◆名古屋大学

- ・ 名古屋市錦二丁目長者町のまちづくり活動 (大都市インナーシティの再生) への参加 (2008 年度-2013 年度、2009 年度-2010 年度旭硝子財団研究助成)
- ・ 名古屋市名東区藤巻町のまちづくり活動 (里山の維持・管理を担う郊外住宅地の再生、長期未整備都市計画公園問題への対応) への参加 (2011 年度-2013 年度)
- ・ 岐阜県大垣市都市みらい戦略会議/子育て世代に選ばれる都市戦略会議(2011 年度-2013 年度、受託研究)

V. 社会的貢献

■学協会役員等

1. 2005-2009 日本建築学会文献抄録委員会都市計画部会委員
2. 2006-2013 日本建築学会東海支部都市計画委員会委員 (2008 から幹事)
3. 2009-2012 日本都市計画学会中部支部幹事 (国際交流委員会担当)
4. 2010-2012 日本建築学会論文集委員会委員
5. 2010-2013 日本都市計画学会学術委員会委員
6. 2010 日本都市計画学会 2010 年度 (第 45 回) 学術研究論文発表会
名古屋大学実行委員会委員
7. 2011-2014 日本都市計画学会会長アドバイザー会議委員
8. 2011-2012 2012 年度日本建築学会大会 (東海) 実行委員会委員
9. 2013- 日本建築学会住まい・まちづくり支援建築会議支援事業部会委員
10. 2013-2014 2014 年度日本建築学会大会 (近畿) 都市計画部門研究協議会資料作成 WG
11. 2014- 日本都市計画学会編集委員会委員
12. 2014- 都市住宅学会編集委員会委員
13. 2014-2015 計画行政学会持続可能性アセスメント研究専門部会メンバー
14. 2015- 日本建築学会都市計画本委員会委員
15. 2015- 日本建築学会都市計画委員会選出可能な市街地環境整備とインナーコミュニティまちづくり小委員会主査
2015 年度日本建築学会大会 (関東) 大会研究協議会 WG
16. 2015 2015 年度日本建築学会大会 (関東) 大会研究協議会 WG
17. 2017- 日本都市計画学会研究交流分科会 (実務と研究の連携のための研究会)
18. 2017- 日本都市計画学会研究交流分科会 (都市規模や地区特性によるエリアマネジメントの人材育成の考え方と研修プログラムの作成に関する研究)
(西暦は年度を示す。)

■学会誌・国際的学術雑誌編集委員等

1. 2008-2014 Journal of Place Management and Development Editorial Advisory Board
2. 2008 Brownfields 2008 International Scientific Advisory Committee Member
3. 2014- Journal of Asian Urbanism Editorial Board

■国際会議・国際シンポジウム組織委員、プログラム委員等

1. 名古屋大学グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」・日本都市計画学会中部支部共催：日独シンポジウム「ランドスケープデザインの新潮流」, 2012.11.5 (企画・運営担当)
2. 名古屋大学グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」・日本都市計画学会中部支部共催：日独シンポジウム「ランドスケープデザインの新潮流 2」, 2013.1.7 (企画・運営担当)
3. 名古屋大学グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」・DFG (German Research Foundation) 日独シンポジウム：縮退する地域と都市の持続可能な地域計画：ドイツと日本の研究交流, 2013.10.3 (企画・運営担当)
4. Organizing Committee Member, The First International Conference of International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (IASUR) "Sustainable Society as Our Challenge", October 24-27, 2014, Kashiwa-no-ha Gate Square, Kashiwa City, Chiba, Japan

5. Organizing Committee Member, International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (IASUR) Student Workshop 2016 on Asian Approach to Urban Regeneration in Yogyakarta, Indonesia, August 8-12, 2016, Universitas Gadjah Mada Organizer, Workshop on Practice and Research in Urban Sustainability Assessment, August 17-18, 2016, Lecture Room 141, Faculty of Engineering Building 14, Hongo Campus, The University of Tokyo, Co-hosted by International Association for Impact Assessment Japan Branch, Global Carbon Project Tsukuba International Office, and Japan Society of Urban and Regional Planners

■公的な審議会、委員会等における貢献

1. 2007-2010 鈴鹿市景観計画策定アドバイザー
2. 2007-2008 幡豆町地域ブランド活性化計画策定サポーター
3. 2007-2010 三重県都市計画審議会臨時委員（三重県都市マスタープラン改定）
4. 2007-2010 亀山市都市マスタープラン市民協議会委員
5. 2008-2013 鈴鹿市都市計画審議会委員（2012・2013：会長）
6. 2008-2014 長久手町（市）都市計画審議会委員
7. 2008- 多治見市建築紛争調停委員会委員
8. 2008-2009 名古屋市住宅都市局都心交通プラン検討会委員
9. 2008-2010 鈴鹿市景観計画策定委員会委員長
10. 2009-2013 鈴鹿市景観審議会会長
11. 2009-2010 三重県都市計画審議会小委員会
（北勢圏域・都市計画区域マスタープラン策定検討委員会）委員長
12. 2009-2010 三重県都市計画審議会小委員会
（東紀州圏域・都市計画区域マスタープラン策定検討委員会）委員長
13. 2009-2010 長久手町都市計画マスタープラン策定委員会委員
14. 2009-2011 四日市市次期総合計画策定専門アドバイザー（土地利用分野）
15. 2009-2011 犬山市都市計画マスタープラン策定委員会副会長
16. 2009-2013 大垣市都市みらい戦略会議アドバイザー
17. 2009-2011 名古屋市住宅施策あり方検討委員会委員
18. 2009-2011 名古屋市都市計画審議会専門委員
（名古屋市都市計画マスタープランに関する調査）
19. 2010-2011 名古屋市低炭素都市なごや戦略実行計画協議会駅そば・風水緑陰・低炭素「住」部会専門委員
20. 2010- 亀山市都市計画審議会委員
21. 2010-2011 名古屋市歴史まちづくり戦略有識者懇話会委員
22. 2010-2012 中川運河再生検討委員会・部会委員
23. 2010-2012 鈴鹿市景観アドバイザー
24. 2010 鈴鹿市平田野中学校移転改築計画建設コンサルタント特定委員会委員長
25. 2010-2013 大垣市都市計画景観審議会委員
26. 2010-2012 亀山市総合計画審議会会長
27. 2010-2011 国土交通省中部地方整備局「新たなモビリティ社会の構築と都市機能強化に関する調査」検討会委員
28. 2010-2013 碧南市景色づくり委員会副委員長
29. 2011 名古屋商工会議所「"名古屋の魅力"発見・発信に繋がる都心活性化プラン」審査委員会審査員
30. 2011-2013 名古屋市交通まちづくり推進協議会委員
31. 2011-2013 名古屋都市整備公社名古屋都市センターオープンスペースデザイン研究会委員
32. 2011-2013 名古屋地震対策専門委員会（災害に強いまちづくり分科会）委員
33. 2011-2015 名古屋都市整備公社名古屋都市センター減災まちづくり検討会・研究会委員

34. 2011-2012 鳴海駅前第2種市街地再開発事業（C工区）特定建築者審査委員会委員
35. 2011-2012 名古屋市都市整備公社・駅そば街区の集約型まちづくり研究会会員
36. 2011-2013 四日市市中心市街地活性化基本計画策定委員会委員長
37. 2011-2012 北名古屋鉄道沿線まちづくり検討会副委員長
38. 2011-2013 愛知県東海・東南海地震・南海地震等被害予測調査リスク評価WG委員
39. 2012-2013 名古屋市既存住宅活用施策の検討に係る懇談会委員
40. 2012 長久手市公園西駅周辺環境配慮型まちづくり基本構想策定委員会副委員長
41. 2012-2013 国土交通省中部地方整備局地震・津波災害に強いまちづくり検討委員会委員
42. 2012 名古屋市「名古屋駅周辺のまちづくり検討調査委託」に係るプロポーザル審査委員会委員
43. 2012 名古屋市「地域まちづくり手引書作成業務委託」に係るプロポーザル審査委員会委員長
44. 2012 名古屋市「重点地域まちづくり基本方針策定検討調査業務委託」に係るプロポーザル審査委員会委員長
45. 2012 名古屋市「駅そばまちづくり検討調査委託」に係るプロポーザル審査委員会委員長
46. 2012-2013 国土交通省国土交通政策研究所動的土空間利用勉強会コアメンバー
47. 2012-2015 鈴鹿市都市マスタープラン見直し検討委員会委員
48. 2012-2013 長久手市公園西駅周辺環境配慮型まちづくり基本計画策定委員会副委員長
49. 2012-終了 津島市地域防災計画見直し検討委員会委員
50. 2012-2014 名古屋市防災まちづくり計画検討会
51. 2013-2016 北名古屋都市計画審議会委員
52. 2013- 愛知まちなみ建築賞選考委員会委員
53. 2013 亀山駅周辺市街地総合再生基本計画策定検討委員会委員長
54. 2013 中川運河再生推進会議委員
55. 2013-2019 三重県都市計画審議会委員
56. 2013-2016 三重県都市計画審議会地震・津波対策都市計画指針策定検討小委員会委員
57. 2013 愛知県新しい地域づくりビジョン有識者懇談会県土基盤分科会委員
58. 2013- 名古屋緑の審議会委員
59. 2013-2015 名古屋緑の審議会緑地保全施策検討部会委員
60. 2013 長久手市公園西駅周辺公共空間デザインアイデアコンペ審査委員会委員長
61. 2013- 鈴鹿市景観審議会専門部会委員
62. 2014-2015 横須賀市都市計画マスタープラン見直し検討会議委員
63. 2014-2015 静岡市都市計画マスタープラン懇談会委員
64. 2014- 鈴鹿市都市計画審議会臨時委員
65. 2015- 国土交通省行政事業レビュー外部有識者会合メンバー
66. 2015-2016 豊田市総合計画審議会委員
67. 2015- 東京都墨田区景観審議会委員
68. 2015-2016 公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター企画委員
69. 2015-2016 名古屋緑の審議会公園緑地のあり方検討部会委員
70. 2015-2016 静岡県環境影響評価審査会委員
71. 2015- 西東京市都市計画審議会委員
72. 2015-2016 亀山市総合計画審議会会長
73. 2015- 名古屋市都市計画審議会立地誘導部会委員
74. 2015-2018 静岡市立地適正化計画策定アドバイザー会議委員
75. 2016- 豊田市都市計画マスタープラン策定懇談会委員
76. 2016 三重県都市計画審議会都市計画基本方針検討小委員会委員長
77. 2016- 松戸市公共施設再編整備推進審議会委員
78. 2017- 深谷市立地適正化計画策定協議会副会長
79. 2017- 東京都豊島区環境審議会委員

- 80. 2017 八重洲・日本橋・京橋まちづくりビジョンの実現化方策推進に対するアドバイザー
- 81. 2017- 埼玉県都市計画審議会委員
- 82. 2017- 静岡市都市計画審議会委員
(西暦は年度を示す。)

VI. その他

■受賞歴

1. 村山顕人：東京大学博士学位論文「成熟都市の計画策定技法の探究：米国諸都市のダウンタウン・プラン策定に見る方法と技術」, 日本都市計画学会論文奨励賞, 2004
2. 都市の木質化プロジェクト (河崎泰夫・佐々木康寿・滝 一之・藤森幹人・船橋浩三・村山顕人・山崎真理子・米津文彦ほか)：錦二丁目ストリートウッドデッキ, 日本木材青壮年団体連合会第 16 回木材活用コンクール第 4 部門(ランドスケープ・インスタレーション)賞, 2013
3. Mari Watanabe, Akito Murayama: Reclaiming Urban Streets: Comparative Analysis of Planning Process, Cost and Technical Standards of "Parklets" in San Francisco and Los Angeles, The Best Presentation Award, The First International Conference of International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (IASUR) "Sustainable Society as Our Challenge", October, 2014
4. 原科幸彦・小泉秀樹・柴田裕希・姥浦道生・片山健介・松行美帆子・多島良・村山顕人・風見正三・村山武彦：都市・地域の持続可能性アセスメント：人口減少時代のプランニングシステム (学芸出版社・2015 年), 2015 年度日本環境共生学会学会賞「著述賞」, 2015.9.26
5. 名古屋大学都市の木質化プロジェクト・愛知県・錦二丁目まちづくり協議会：都市の木質化プロジェクト, (特)活木活木森ネットワーク・(公社)国土緑化推進機構、(株)ユニバーサルデザイン総合研究所・ウッドデザイン賞 2016、2016
6. 錦二丁目まちづくり協議会 (2008 年度から協働会員、2013 年度から低炭素地区会議議長)：まちづくり構想の策定、再開発事業計画作成、リノベーション等のまちづくり, 平成 29 年度まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰, 2017.6

■新聞記事掲載状況

1. 西尾市の市街地活性化への中間報告：名大の大学院生ら, 中日新聞, 2007.6.6
2. 西尾の都市環境デザイン描く：若者の視点で課題を分析：名大生がまちづくり実習, 2007.6
3. 名大院生が中心市街地の活性化案：実習で都市環境デザイン, 2007.6
4. 名大生が幡豆町を分析：地域ブランド活性化計画に向け発表会, 2007.7
5. 西尾の"まち"の理想像提案：若者目線で活性化探る：名大院生が最終講評, 2007.8
6. 本町に街づくり公園や工房を：名大院生が都市環境で提案：西尾で実習成果を最終報告, 2007.8
7. Japanese educator takes waterfront tour, Plan Philly News (Internet), 2007.8.20
8. Megacidades: Grandes Reportagens - Toquio (Internet), 2008.8
9. 鈴鹿市：来年、景観行政団体に -- 県内 5 番目 / 三重, 2008.11
10. 名古屋の都市生活：学生が模型や意見：金山で企画展, 2008.11
11. 鈴鹿市がきょう景観行政団体に：三重県内 5 番目, 2009.1
12. ガーデンふ頭に人波つくれ！ 地元学生が再開発議論, 2009.10
13. 特集：若い感性が名古屋港を再発見！ガーデンふ頭ミニシャレット, 2009.11
14. ガーデンふ頭：学生が再開発提案：名港管理「参考に」, 2009.11
15. 緑を生かした景観づくりを：鈴鹿市長に素案提出：市計画策定委, 伊勢新聞, 2010.2.18
16. 研究室探訪：「長者町」の再生を支援, 名古屋大学工学部村山顕人准教授 33, 2010.3.19 日
17. 名古屋都心の「長者町」まちづくりを木質化で：都市再生に流域材を使うことで森林も再生：名古屋大学・都市の木質化プロジェクト：林材新聞, 2011.2.10
18. 東海環状自動車道大垣西 (仮称) インターチェンジ周辺開発について小川敏大垣市長に提言, 大垣商工会議所ホームページ, 2011.4.5
19. リニアがもたらす革命：未来都市・名古屋の姿：都心ビジョン 2030, 通建新聞, 2012.1.1
20. 北名古屋市：名鉄犬山線連立化を検討：年度内にまちづくり構想, 2012.7.27
21. 2012 年度日本建築学会[東海]記念シンポジウム「名古屋・愛知・東海の防災とまちづくり」

- が豊田講堂にて開催、中日新聞、2012.9.9
22. 都市機構：名古屋で技術・研究報告会：村山名大准教授が特別講演、2013.10
 23. 「水生かしたまち」提案：大垣市でシンポ：定住促す都市像探る、岐阜新聞西濃版、2014.2.2
 24. 子育て選ばれる街に：大垣都市戦略考えるシンポ、中日新聞西濃版、2014.2.5
 25. 住民が責任持つ必要：名古屋長者町通：歩道拡幅でシンポ、毎日新聞、2014.10.17
 26. 「低炭素の街」名古屋市、2事業認定、日本経済新聞、2015.2.13
 27. 低炭素モデル2事業に認定証：名古屋市、日本経済新聞、2015.2.16
 28. 低炭素都市へ：2モデル地区：壁緑化やエネルギーセンター：市が認定、読売新聞、2015.2
 29. 港区と中区：2地区の再開発：低炭素モデルに認定、中日新聞、2015.2.18
 30. 歴史的資産で活性化：まちづくりシンポジウム：白河市、建設工業新聞、2015.11.8
 31. 計画策定足りない財源：村山顕人・東大准教授に聞く、中日新聞、2016.12.5
 32. これからの都市計画を考える：地区スケールの都市再生とそれを編集する都市のプランニング、日刊建設産業新聞、2016.12.16
 33. En fortaelling om to byer, Weekendavisen, 2017.1.6
 34. 村山顕人・東大准教授：幸せな都市縮小を、日本経済新聞（朝刊）、2017.11.9

2. 2015.10-2016.3 学術戦略室補佐
3. 2017.2.24 KAKEHASHI Project 2016 受け入れ担当
4. 2017- 大学院教育問題検討委員会委員

以上

■テレビ・ラジオ出演状況

1. 「週刊 GLOCAL EYE」特集 「四日市中心市街地について」、CTY コミュニティチャンネル、2012.6
2. Deutschlandradio, 2013.7.15 (ドイツで開催された国際会議 CCRR-2013 で受けたラジオ取材)
3. NHK 東海ニュース、2014.2.11 (THE 討論! 『ナゴヤ版』 減災まちづくりを考える) とその関連のワークショップ)
4. 中京テレビニュース、2014.2.11 (THE 討論! 『ナゴヤ版』 減災まちづくりを考える) とその関連のワークショップ)
5. CBC ニュース、2014.2.11 (THE 討論! 『ナゴヤ版』 減災まちづくりを考える) とその関連のワークショップ)
6. NHK ニュース、2014.3.3 「ほっとイブニング」(名古屋放送局) 「【特集・震災】 災害に強い街づくり」(三重県尾鷲市で進んでいる民間ベースの高台移転についてコメント)
7. NHK 東海・北陸震災キャンペーン、2014.3.7, 「忘れない 未来のために」(三重県尾鷲市で進んでいる民間ベースの高台移転についてコメント)

■学内における管理運営等の活動

◆名古屋大学

1. 2006 建築学教室庶務委員会委員
2. 2007-2008 環境学研究科学生生活委員会委員
3. 2008-2009 建築学教室教務委員長
4. 2009-2010 環境学研究科同窓会設立準備委員会/活動支援委員会委員
5. 2010 建築学教室主任補佐 (環境学研究科都市環境学専攻長補佐)
6. 2010-2012 日本学術振興会研究者海外派遣基金助成金 (組織的な若手研究者等海外派遣プログラム) 「基礎環境学を担う若手人材育成プログラム」委員
7. 2011-2013 建築学教室評価・FD 委員 (2013 は主担当)
8. 2010-2013 建築学教室教務委員会委員
9. 2011-2013 環境学研究科情報室運営小委員会委員
10. 2013 環境学研究科学生生活委員会委員 (西暦は年度を示す。)

◆東京大学 (主要なもののみ)

1. 2015.4- 工学部都市工学科計画系演習委員長